

モジュールの時間を利用するほか、45分授業確保に工夫を凝らす例も

新学習指導要領への移行措置では、「総合的な学習の時間」から15時間を外国語（英語）に活用してもよいことになったが、2020年度を見据えると、早くから35時間の増加分をどう確保すべきか検討を進めていくことが必要だろう。

ここでは、高学年で既に年間70時間の英語の授業時数確保を行い、試行錯誤を重ねてきた5つの学校事例を紹介する。それぞれのメリット・デメリットを踏まえて、自校にとって最適な方法を探りたい。

*ここでの「時間」は「単位時間」（45分）を指す。1コマも同様。

■…英語の時間 ■…工夫点

45分×週2コマ型 島根県◎雲南市立吉田小学校の場合

取り組みは P.4～7 参照

委員会・クラブ・学活の時間を柔軟に運用し、毎週29時間を確保

授業時数確保のポイント

- 英語教育強化拠点事業の2年目（2015年度）から週2コマ、45分授業を導入。
- 上記に伴い、委員会活動を月1回、クラブ活動を年8回とし、夏休みも短縮。
- クラブ・委員会・学活を基本的に木曜6時限目に集約。クラブか委員会がある週は、月曜6時限目に学活を行い、毎週29時間の授業時数を確保。
- 職員会議は毎週月曜日に行う。5時限目までの日は15:30～17:00、6時限目

までの日は16:00～17:00に行っている。

- 授業とは別に、朝のドリル学習も実施。

メリット・デメリット

- メリット 45分あると授業が深まる。モジュールは時間が短いため、意味のある授業をつくるのが難しい。また、モジュールは回数が多い分、かける労力が多く、45分授業の方が全体として負担が少ない。理解度も45分の方が高まる。
- デメリット 高学年の担任の持ち時数が多くなるため、その負担が大きい。

■5・6年生 1学期 週時間割表

	月	火	水	木	金
1	社	総	国	総	国
2	算	体	算	体	体
3	図	国	書	英	算
4	国	音	道	算	音
5	英	理	家	社	社
6	学	算	理	委 ク 学	理

週1コマ+モジュール・45分併用型① 東京都◎武蔵村山市立第三小学校の場合

午前5時間制や時程の繰り上げ実施で年間最大60時間を確保

授業時数確保のポイント

- 週1コマ45分授業（年間35時間）に加え、さらに週1コマ分確保のため45分授業（年間25時間）と週1回15分のモジュール×30回（年間10時間）を実施。
- 研究授業日や土曜の学校公開日を午前5時間の特別時程とした。また、午後が研究会や出張等でカットされがちな水曜・金曜の時程を繰り上げて6時限終了時刻を14:25に早め、45分授業の時間を確保。
- 時程を繰り上げて生み出した水曜6時限目に、委員会活動（年間11時間）、クラブ活動（年間16時間）を実施。

メリット・デメリット

- メリット 最大60時間の余剰時間が確保でき、授業時数に余裕が生まれた。また、水曜・金曜の時程を繰り上げたことで、

金曜の放課後に、職員会議・校内研究や分掌打ち合わせ、教材研究の時間が取れるようになった。

- デメリット 曜日によって時程が違っているので、教職員・児童が慣れるまで時間が必要である。また、理解を得るために教職員はもとより、保護者への事前周知が必要である。

◎一言アドバイス

早めの着手が望ましい。本校では前年度の夏季休業中にモデルパターンを複数作成し、検討した。

■時程表

曜日 時間	火 (月・木も同様の時程)	水・金	研究授業、 土(学校公開)
朝の活動	英語モジュール 8:20～8:35	学級指導 8:15～8:20	学級指導 8:15～8:20
	学級指導 8:35～8:40		
1	8:40～9:25	8:20～9:05	8:20～9:05
2	9:30～10:15	9:10～9:55	9:10～9:55
中休み	(20)	(20)	(10)
3	10:35～11:20	10:15～11:00	10:05～10:50
4	11:25～12:10	11:05～11:50	10:55～11:40
給食	12:10～12:50	11:50～12:30	
清掃、 昼休み	12:50～13:25	学級指導、昼休み、 簡単清掃等 12:30～12:50	休み時間後、 そのまま 5時限目へ
5	13:25～14:10	12:50～13:35	11:45～12:30
6	14:15～15:00	(水のみクラブ活動、 委員会活動) 13:40～14:25	その後、給食、 学級指導、 研究授業等

学校 プロフィール

◎2015年度より、文部科学省の英語教育強化地域拠点校として、小学校英語の研究を推進。また、東京都オリンピック・パラリンピック教育アワード校でもある。

校長 前川 潤先生 児童数 494人 学級数 15学級 電話 042-561-1753

URL <http://www.city.musashimurayama.lg.jp/school/mmced3s/>

週1コマ+モジュール・45分併用型② 徳島県◎阿波市立伊沢小学校の場合

モジュール教科を増やし、柔軟な時間割編成が可能に

授業時数確保のポイント

- 同校では、週1コマの45分授業以外に、朝の帯時間に行う15分×3回の短時間学習と45分授業を併用している。
- ポイントは、国・算もモジュール化し、週3回の短時間学習を国・算・外の抱き合わせとしたこと（学習の内容に合わせて、どの教科をモジュールにするか決定）。さらに週1コマ、国・算・外の抱き合わせの時間を設定した。
- 以前はモジュール独自の内容だったが、学習の必然性が弱かったため、モジュール学習を単元の中にきちんと位置づけて、単元計画に沿った内容とした。

メリット・デメリット

- メリット** モジュールは15分だけなので、子どもが集中できる。また、短時間

での積み重ねができ、学習内容の定着につながる。

- デメリット** 学びを深めるには15分では足りない。気づきを促す→共有→考えを深めるという一連の流れを行うには、45分の方が望ましい。

一言アドバイス

モジュールと45分授業で授業に参加する教員が異なる場合は、情報共有や連携をより綿密に行う必要がある。

学校プロフィール

◎1947(昭和22)年開校。徳島県の中央部にある、豊かな自然環境に恵まれた小学校。地域と協働して食育に力を入れている。
校長 細井 誠先生 児童数 188人 学級数 12学級(うち特別支援学級5)
電話 0883-35-2034
URL <http://e-school.e-tokushima.or.jp/awa/es/isawa/html/>

■時程表(例)

	月	火	水	木	金
8:10	全校朝会	短時間学習(外・国・算)	短時間学習(外・国・算)	集会	短時間学習(外・国・算)
8:25	朝の会				
8:40	1校時				
9:25					
9:30	2校時				
10:15	業間休み				
10:40	3校時				
11:25					
11:35	4校時			外国語	
12:20	給食				
13:00	昼休み				
13:30	掃除				
13:50	5校時	外・国・算			
14:35	帰りの会				
14:45	ショートスタディタイム				
15:05	6校時				
15:50					

週1コマ+モジュール型① 東京都◎町田市立本町田東小学校の場合

取り組みはP.18～19参照

朝1時限目の帯時間を活用し、週3回のモジュール学習を行う

授業時数確保のポイント

- 同校では、週1コマの45分授業以外に、月・水・金に朝15分の英語モジュール学習を実施。1時限目を60分授業にして、そのうちの最初の15分を英語モジュールに充て、そのままの流れで次の授業に入る。火・木も1時限目は60～75分授業を実施。内容や時間配分はクラス裁量。
- 英語モジュールとは別に、月・水・金

に朝読書を行っている。

メリット・デメリット

- メリット** 15分授業は慣らし運転に向いている。英語を教えるのが初めての先生にも「15分ならできる」と言われた。また、子どもたちがコンスタントに英語に触れられるので、英語に慣れやすい。
- デメリット** 今のところはうまく行っている、特に感じていない。

■時程表/月曜日の場合

時/曜	月曜日
朝の活動	朝読書 8:15～8:25
	朝の会 8:25～8:40
1	英語モジュール 8:40～8:55
	8:55～9:40
2	9:45～10:30
中休み	10:30～10:50
3	10:50～11:35
4	11:40～12:25
給食	12:25～13:10
清掃	13:10～13:25
昼休み	13:25～13:45
5	13:45～14:30
帰りの会	14:30～14:45
6	クラブ 14:45～15:45
	委員会 14:45～15:30

週1コマ+モジュール型② 群馬県◎太田市立旭小学校の場合

取り組みはP.14～15参照

昼に帯時間を設定し、週3回のモジュール学習を行う

授業時数確保のポイント

- 同校では、2017年度から昼の帯時間にモジュールの時間を確保。13:55から「あさひタイム」という15分の帯時間を設け、そのうちの月・火・水を英語に充てている。
- 英語がない曜日や小1～4の「あさひタイム」は、連絡帳の記入に充てる。
- 小5・6はALTの来校日に合わせ、金曜日に45分の英語の授業を組み込む。
- 朝に、ドリル学習や読書の時間を確保。

メリット・デメリット

- メリット** 児童が週4日英語に触れることとなり、機会が増えたことで学習内容の定着が図れている。児童からはモジュールの活動が楽しいとの声も。
- デメリット** ALTや専科教員がすべてのモジュールに入ることは難しく、担任1人で行う場合、担任の負担が大きい。事前に学習内容を確認し、授業の質を確保することが必要。

■時程表/普通校時の場合

時程	普通校時
朝行事・学活等	8:25～8:50
第1校時	8:50～9:35
第2校時	9:40～10:25
休み時間	10:25～10:50
第3校時	10:50～11:35
第4校時	11:40～12:25
給食・歯磨き	12:25～13:10
昼休み	13:10～13:35
掃除	13:35～13:50
移動	13:50～13:55
あさひタイム	13:55～14:10
第5校時	14:15～15:00
第6校時	15:05～15:50